

【巻末資料】

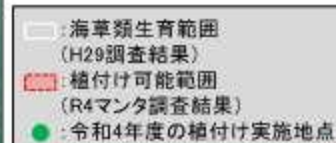
植付け後モニタリングの結果

1. 令和4年度の植付け地点における植付け後モニタリングの結果
2. 令和5年度の植付け地点における植付け後モニタリングの結果
3. 被食後の移植株の生育状況(回復状況)について

1. 令和4年度の植付け地点における
植付け後モニタリングの結果

令和4年度植付け地点③のモニタリング結果(1/2)

項目	内容
植付け実施日	令和4年12月8日～15日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株



項目	内容					
	植付け時	R5台風後1回目	R5台風後2回目	R5夏季	R5冬季	
モニタリング時期	令和4年12月8～15日	令和5年6月10日	令和5年8月10日	令和5年9月13、14日	令和5年12月20、21日	
モニタリング区画数	50区画	50区画	50区画	50区画	50区画	
シュート数のランク	3～5、平均3.7	1～4、平均2.3	1～3、平均1.7	1～3、平均1.6	1～3、平均1.5	
砂層厚	平均16cm	平均17cm	平均16cm	平均16cm	平均19cm	
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場 ・周辺藻場の一部が流失	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	
特記事項 (他の海草類の混生、 開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生 ・植付け翌日にアオイガ メによる被食を8～9割 程度で確認	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	

令和4年度植付け地点③のモニタリング結果(2/2)

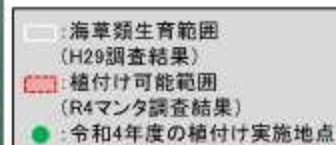
項目	内容
植付け実施日	令和4年12月8日～15日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株



項目	内容	
モニタリング時期	R6夏季	R6台風後
実施年月日	令和6年7月18日	令和6年10月7日
モニタリング区画数	50区画	50区画
シュート数のランク	1～3、平均1.4	1～2、平均1.3
	<p>区画数</p> <p>シュート数のランク</p>	<p>区画数</p> <p>シュート数のランク</p>
砂層厚	平均17cm	平均16cm
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びびうみシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びびうみシグサ類の混生藻場
特記事項 (他の海草類の混生、開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ及びびうみシグサ類が一部の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ及びびうみシグサ類が一部の区画内に混生

令和4年度植付け地点④のモニタリング結果(1/2)

項目	内容
植付け実施日	令和4年12月15日～24日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株



項目	内容					
モニタリング時期	植付け時	R5台風後1回目	R5台風後2回目	R5夏季	R5冬季	
実施年月日	令和4年12月15～24日	令和5年6月10日	令和5年8月10日	令和5年9月13、14日	令和5年12月20、21日	
モニタリング区画数	50区画	50区画	50区画	50区画	50区画	
シュート数のランク	3～5、平均3.5	2～5、平均2.7	1～2、平均1.8	1～2、平均1.6	1～2、平均1.4	
砂層厚	平均14cm	平均15cm	平均13cm	平均12cm	平均11cm	
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場 ・周辺藻場の一部が流失	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	
特記事項 (他の海草類の混生、 開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生 ・植付け翌日にアオイガ メによる被食を8～9割 程度で確認	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	

令和4年度植付け地点④のモニタリング結果(2/2)

項目	内容
植付け実施日	令和4年12月15日～24日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株

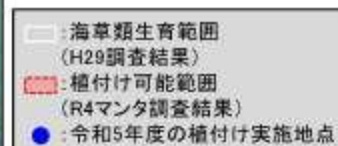


項目	内容	
モニタリング時期	R6夏季	R6台風後
実施年月日	令和6年7月18日	令和6年10月7日
モニタリング区画数	50区画	50区画
シュート数のランク	1～2、平均1.4	1～2、平均1.3
	<p>区画数</p> <p>シュート数のランク</p>	<p>区画数</p> <p>シュート数のランク</p>
砂層厚	平均14cm	平均15cm
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場
特記事項 (他の海草類の混生、開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ及びウミシグサ類が一部の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ及びウミシグサ類が一部の区画内に混生

2. 令和5年度の植付け地点における 植付け後モニタリングの結果

令和5年度植付け地点②のモニタリング結果

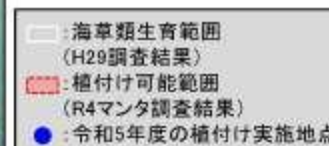
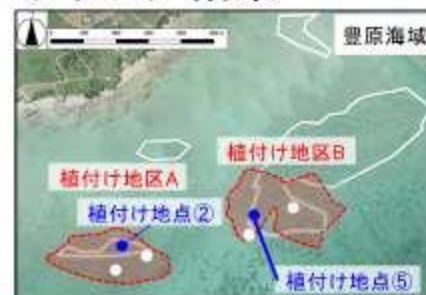
項目	内容
植付け実施日	令和6年1月11日～21日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株



項目	内容			
	植付け時	R6夏季	R6台風後	
モニタリング時期	令和6年1月11～21日	令和6年7月17日	令和6年10月8日	
実施年月日	令和6年1月11～21日	令和6年7月17日	令和6年10月8日	
モニタリング区画数	50区画	50区画	50区画	
シュート数のランク	3～4、平均3.1	1～3、平均1.9	1～4、平均2.2	
砂層厚	平均15cm	平均19cm	平均17cm	
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	
特記事項 (他の海草類の混生、 開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生 ・植付け1～2週間後に アウミガメによる被食 を1割程度で確認	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	

令和5年度植付け地点⑤のモニタリング結果

項目	内容
植付け実施日	令和6年1月11日～21日
植付け区画数	50区画
植付け株の密度	1区画当たり20株
植付け株数	合計1,000株



項目	内容			
	植付け時	R6夏季	R6台風後	
モニタリング時期	令和6年1月11～21日	令和6年7月17日	令和6年10月8日	
実施年月日	令和6年1月11～21日	令和6年7月17日	令和6年10月8日	
モニタリング区画数	50区画	50区画	50区画	
シュート数のランク	3、平均3.0	1～3、平均2.0	1～4、平均2.1	
砂層厚	平均17cm	平均19cm	平均18cm	
底質概観	礫混じり砂	礫混じり砂	礫混じり砂	
周辺の海草藻場の状況	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	・リュウキュウスガモ及びウミシグサ類の混生藻場	
特記事項 (他の海草類の混生、 開花・結実等)	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生 ・植付け1～2週間後に アウミガメによる被食 を1割程度で確認	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	・天然のリュウキュウスガモ 及びウミシグサ類が一部 の区画内に混生	

3. 被食後の移植株の生育状況(回復状況)について

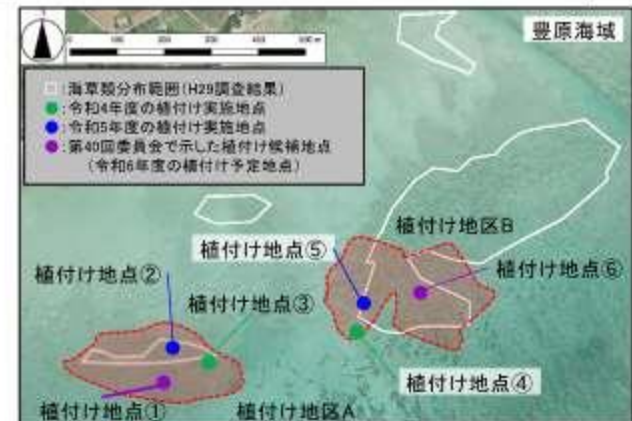
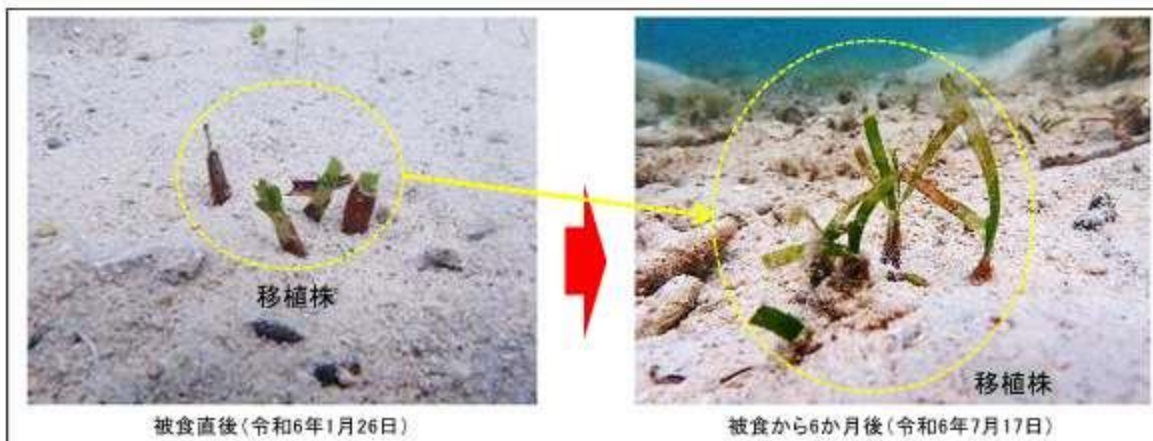
被食後の移植株の生育状況(回復状況)について

- 令和4年度植付け: 令和4年12月の植付け直後に、移植株全体の8~9割において、アオウミガメによる被食が確認されたが、その後令和6年7月まで、継続的または著しい被食はみられない。残存した移植株の葉長は、被食直後が1~2cm、被食から5か月後(令和5年5月)が約5cm、被食から19か月後(令和6年7月)が5~10cmと伸長しており、被食から回復していることが確認されている。
- 令和5年度植付け: 令和6年1月の植付け直後に、移植株全体の1割程度において、アオウミガメによる被食が確認されたが、その後令和6年7月まで、継続的または著しい被食はみられない。残存した移植株の葉長は、被食直後が1~2cm、被食から6か月後(令和6年7月)が約5cmと伸長しており、被食から回復しているものと推察される。

■被食後の移植株の回復状況(令和4年度植付け(植付け地点④の移植株))



■被食後の移植株の回復状況(令和5年度植付け(植付け地点⑤の移植株))



豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大の実施場所